しずくいし

No. 139
2026.10
●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより



特集
私たちの暮らしと
どうつながっているか

●今号の主な内容

特集 令和7年度決算…2
9月定例会…6
町政を問う
一般質問 8議員が質問…10
委員会レポート…16
ふるさとへの便り(105)…19

●今号の表紙／なかよしシリーズ

「わたしたち4きょうだい」…20

決算 117億6,790万円

令和７年度の一般会計から支出したお金の合計です。町民の皆さんから伺った感想とあわせて、決算特別委員会で出された主な質疑を取り上げました。

決算ってなに　町のお金を確かめる４つのステップ

1・予算を決める
令和７年３月・議会が議決

2・予算に沿って事業を行う
令和7年4月～令和8年3月

3・監査委員が決算をチェックする
令和８年５月～８月

4・議会が認定する
令和８年９月定例会

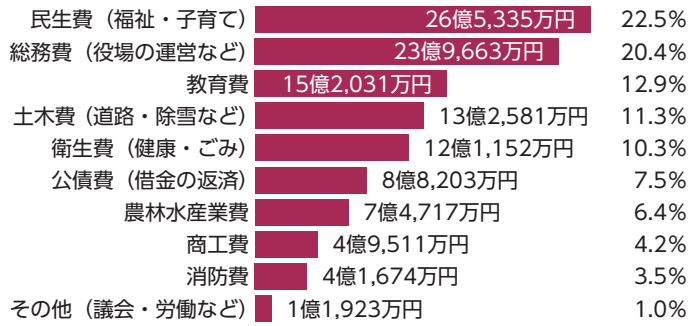
いま、ここ

決算認定は、町の予算がどのように使われ、適正だったか、無駄は無かったかを議会が確認する審査です。そこで出された意見や指摘は、今後の予算や事業に活かされます。

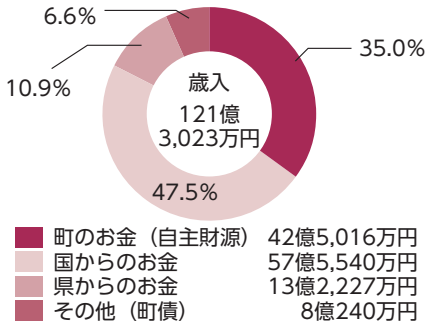


117億6,790万円（決算額）÷ 1万4,592人（町の人口（令和７年度末））
＝町民１人あたり **約81万円**

支出は



収入は



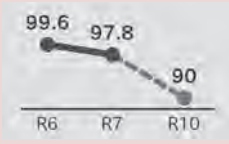
支出が最も大きいものは、福祉や子育てにあてる民生費の 26 億 5,335 万円です。次いで役場の運営などの総務費、学校にかかわる教育費と続き、この上位３つで全体の約 56% を占めます。

収入のうち最も大きいものは国からのお金で、その中でも地方交付税が 41 億 6,404 万円です。町民から集めた町税 22 億 1,715 万円の、およそ 1.9 倍にあたります。

Pick up　町の財政に余裕はあるか

経常収支比率
97.8%

100% に近いほど、自由に使えるお金が少ないことを示す指標です。前年度より 1.8 ポイント改善しました。ただし、岩手県内市町村平均は 93.3%。この数字をどう見るのか、決算特別委員会でも議論しました。



議会でチェック

令和 10 年度に 90% 未満という目標、どうやって改善していくのか。

問　令和７年度は 97.8%、令和 10 年度の 90% 未満という目標に向け、具体的な根拠はあるか。

答　使用料・手数料の見直しや、有利な地方債の活用などで収入を確保するとともに、事業や公共施設の見直し、省エネ改修などにより、日常的な経費を抑える。毎年 10 月に財政見通しを作成し、その中で目標値を見直して、翌年度の予算編成方針に反映させる。

特集 令和7年度　一般会計

令和７年度決算特別委員会（堂前義信委員長、徳田幸男副委員長）は、令和８年９月９日から４日間行い、一般会計など10会計について議論を交わしました。

町民の暮らしから見るこの事業 私たちの暮らしとどうつながっているか

町民から、事業への思いや今後への期待を聞きました。

鷲宿温泉スポーツエリア拠点施設管理運営事業

3,370万円



煙山宏一（けむやまこういち）さん　（59歳）
鷲宿

鷲宿温泉スポーツエリアの知名度を上げるために予算を使ってほしいです。合宿で温泉を使う人が増え、集客と増収につながります。鷲宿温泉全体が盛り上がることを期待しています。

放課後児童クラブ運営業務委託料

3,567万円



芦久保幸恵（あしくぼゆきえ）さん（45歳）
七ツ森

学童利用料の値上がりが家計の負担です。クマなどの野生動物出現による登下校の対応も家庭での負担が大きく、子育て世代が「今」求めていることへ活用してほしいです。

若者向け住宅取得支援奨励金

1,560万円



桐山和彦（きりやまかずひこ）さん　（54歳）
七区

若者向け住宅支援で移住者が増えているのは素晴らしく、続けてほしいです。農業の安定した収入や若者の働く場も増やし、若者に選んでもらえる町になってほしいです。

観光交流推進事業

4,816万円



下黒沢朝光（しもくろさわともみつ）さん（40歳）
黒沢

ニセコ町への視察を要望します。雫石町でのリゾート開発を見据えた準備と対策が肝要です。視察内容は景観条例の必要性、違法建築・地価高騰・住環境維持対策を中心に行ってほしいです。

移住促進事業

1,434万円



佐々木雅子（ささきまさこ）さん（56歳）
安庭

県外からの移住者には手厚い支援のようですが、人口は減る一方です。雫石の豊富な地場産品を利用して、ふるさと納税の返礼品のように、移住返礼品としてアピールしてはどうでしょうか。

総合運動公園等管理運営事業

1億6,142万円



古舘愛（ふるだてちか）さん　（43歳）
下町三

町の魅力向上と猛暑対策のため、町営体育館・中学校体育館および武道場への冷房設備設置を望みます。安全な運動環境の確保とスポーツ合宿・大会誘致による地域活性化を期待します。

※金額は四捨五入しています。

特集

令和7年度決算 議員がただした主な質疑

学びを通して生きがいを感じるまち ≪教育≫

教育用タブレット購入費 5,233万円

問 5年後に見込まれる端末の更新に向け、積立等の計画的な平準化を進めては。

答 今回はタブレット代の3分の2が国から交付された。次の方針が示された時点で財政当局と適切に協議していく。



いきいきと ともに幸せを感じるまち ≪保健・医療・福祉≫

放課後児童クラブ運営事業 3,567万円

問 利用者数が減っていることを踏まえ、料金を元に戻すことなど、保護者や児童のために検討しては。

答 児童数の減少や、兄弟割り引きを廃止したことにより利用者が減った。料金設定について、事業委託者とともに検討する。



老人憩の家管理運営事業 833万円

問 年間1万7,029人が利用している。令和9年度の閉鎖後、どのようなサービスを考えているか。

答 利用者が減少している現状を踏まえ、近郊のホテルなどに補助を行い、温泉の利用を促すことも一つの方法と考えている。



みんながつながって安全に住めるまち ≪安心・安全≫

有害鳥獣対策事業 958万円

問 電気柵は設置するだけでなく、草刈り作業など適切な維持管理が重要である。設置後の指導や勉強会なども必要では。

答 設置時に指導しているが、管理が適切でないため被害に遭う事例もある。設置後の適正な管理についても、併せて指導していく。

問 クマによる観光施設への被害やキャンセルも出ている中、露天風呂周辺など、観光施設への電気柵設置にも補助を検討しては。

答 観光施設からも補助を求める声が複数寄せられている。国の補助制度などを研究し、農林課と協力しながら、来年度の事業化を目指す。



産業を通じて豊かさを実感し　笑顔で稼ぐまち　≪産業≫

くらし応援プレミアム商品券発行事業委託料 4,654万円

問 通常販売が18日間にわたったことで、同一人物が重複購入できたとの声がある。公平に行き渡るよう販売期間や数量を見直すべきでは。

答 今回の販売結果を検証し、今後実施する場合は、公平性を重視した制度設計を進めていく。



肉用牛振興対策事業費補助金 581万円

問 予算をより有効に活用し、ゲノム検査や暑熱対策など、農家の要望に応じた支援を検討しては。

答 効果的に活用されるよう、補助率の見直しなども行っている。今後も、農家のために有効に活用できるよう検討する。



豊かで誇れる自然を守り育て　子どもたちにつないでいくまち　≪環境≫

多面的機能支払交付金 2億3,553万円

問 オオハンゴンソウの駆除にもこの交付金は使える。取り組みを広げては。

答 外来種の駆除に取り組んでいるのは現在2組織。関係課で情報を共有し、できることがあれば連携していく。

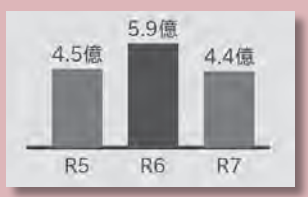


総括・歳入全般

ふるさと雫石応援寄附金 4億3,667万円

問 前年度に比べて約1億5,000万円減少した理由をどのように分析しているか。

答 前年度は米価の高騰を受け、米への寄附が増加したと分析しているが、今年度は、米への寄附が従来の水準に戻ったことなどから、寄附額が減少した。



寄附額の3年間の推移

入湯税 5,400万円

問 約50万円の減は、3施設の閉業等の影響と考えるが、入湯税を観光振興の財源としてどう位置づけているか。

答 入湯税は使い道が限定された財源ではないが、当町では観光振興に役立てるため、その分野に重点的に充てている。



9月定例会のあらまし

令和７年度 一般会計歳入歳出決算など10会計を認定

●畜産経営緊急支援事業 濃厚飼料購入費増加額の10%を補助
●物価高対応子育て応援手当 児童生徒の養育費一人当たり8千円支給
●災害応急復旧工事 町道上野沢線復旧工事を実施

令和8年9月定例会は、9月2日から16日までの15日間の会期で行われました。

本定例会では、報告3件、条例の一部改正1件、補正予算8件、その他3件、議員発議1件を審議しました。

決算特別委員会(委員長：堂前義信、副委員長：徳田幸男)は、令和7年度一般会計歳入歳出決算など10会計について審査し、すべて認定すべきものと決定しました。

一般質問は、8人の議員が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをただしました。

令和８年度補正予算（一般会計及び特別会計）

会計名	補正後予算額（補正予算額）
一般会計（第３号）	114億7,411万4千円（4億768万1千円増）
国民健康保険特別会計（第１号）	17億7,662万4千円（1,031万4千円増）
介護保険事業勘定特別会計（第２号）	22億133万6千円（6,888万7千円増）
介護保険介護サービス事業勘定特別会計（第１号）	1,351万3千円（130万3千円増）
雫石診療所特別会計（第１号）	5億6,333万1千円（2,345万2千円増）
水道事業会計（第１号）	4億1,015万8千円（786万3千円増）
簡易水道事業会計（第１号）	4,317万5千円（25万7千円増）
下水道事業会計（第１号）	6億2,285万円（162万3千円増）

主な補正予算

畜産政策推進事業

○畜産経営緊急支援事業費補助金　2000万円

世界情勢の影響により、輸入とうもろこし等を原料とする濃厚飼料の価格が高騰しており、畜産農家の経営を圧迫している。畜産農家の経営継続を図るため、畜種ごとに、濃厚飼料購入費用の増加額（令和7年平均から令和8年3月）の10パーセントを補助単価として、飼養頭数を乗じた額を畜産農家に交付する。

物価高対応子育て応援手当支給事業

○物価高対応子育て応援手当
1400万円

物価高騰による子育て世帯における経済的負担を軽減するため、高校生まで（18歳以下）の児童生徒を養育する保護者に対し支援金を支給する。支給対象は、令和8年9月1日時点で雫石町に住所を有する0歳から高校生まで（18歳以下）の児童生徒を養育する保護者（父母等）で、給付額は、児童生徒1人当たり一律8千円を支給する。

道路橋梁災害応急復旧事業

○災害応急復旧工事費
632万1千円

令和8年8月1日から2日にかけて発生した豪雨により、町道上野沢線に面した山林の一部が崩落し、土砂や流木が町道に流出したことから、これに伴う堆積土砂の撤去と流木の運搬処分、破損した落石防護柵の復旧工事を実施する。



山林の一部が崩落した上野沢線

主な質疑

Q【杉澤議員】旧上長山小学校利活用事業について、食堂事業者との交渉不調や調査事業実施、利活用事業の公募、優先交渉権者の公募辞退等様々な経過をたどり、現在は食堂事業者との関係がこじれているのはなぜか。

A【町長】食堂事業者には期間限定で貸付したものと認識している。改めて利活用事業を公募した時点で、食堂事業者が応募すると思っていたが、応募されなかった。その後、町との交渉は断られ、さらに弁護士に相談しているとのことであり、町としても弁護士を頼み、弁護士同士の交渉という形にしかできないと判断した。



早期の解決を望む旧上長山小の利活用

Q【徳田議員】豪州観光客市場拡大ファムツアー（旅行業者を招待）実施業務委託料について、町の観光を進めることは重要だが、具体的な目的は何か。

A【観光商工課長】町の令和7年のインバウンドの入り込みについては、7万9000人回を超えて過去最高という状況になっている。スキー客を中心に豪州からの入り込みもかなり増えている状況である。町の強みである3スキー場を生かした豪州のインバウンドの更なる促進及び効果を目指して実施するものである。



ファムツアーの効果が期待される豪州からのスキー客

Q【高橋議員】ラリーチャレンジ岩手実行委員会負担金、具体的な使い方と効果は。

A【観光商工課長】負担金の使い方は現時点では、会場設営費やイベント運営費等へ支出予定である。交流人口増加に効果があるものと考えている。



継続開催が望まれるラリーチャレンジ

Q【岩持議員】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のうち、畜産経営緊急支援事業として2000万円計上しているが、米農家に対する支援は。

A【町長】畜産農家、米農家の物価高騰対策を一度にはできない。物価高騰は農家だけでなく町全体のことである。今後も物価高騰対策を3回程度実施しないと物価高に対応できないと国にも要望した。町でも何らかの形で米農家の物価高騰対策を考えていきたい。

Q【畠山議員】道路路面補修工事費について、当初予算とほぼ同額の補正要求になったのはなぜか。

A【地域整備課長】例年、当初予算要求の段階で見込んでいた面積より工事面積が増加するが、今年度はそれに加えて、工事単価の上昇と例年よりも冬期間の天候の影響により破損が多く、補修箇所数が増加した。


冬期間の天候の影響が大きく補修箇所が増加

Q【徳田議員】物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減する目的で、子ども一人当たり8千円を支給するが、非課税世帯や低所得世帯に関わらず一律支給とした根拠は。

A【こども課長】今回活用する交付金は、市町村の実情に合わせた支援を行うことができる。物価高騰の影響を受けているのは、低所得世帯等に限ったことではないため、全ての子育て世帯へ素早く支給できることから、一律支給とした。

Q【山崎議員】ユーチューブで視聴調査する目的は何か。

A【総合政策課長】シティープロモーションの一環として情報発信の仕方を調査しながら、町の情報発信力を高めていくための調査業務である。



ユーチューブは町の情報発信に有効なコンテンツ

Q【岩持議員】ありね山荘指定管理料の増額を当初予算で計上しなかったのはなぜか。

A【観光商工課長】国の水質基準に関する省令の改正が令和8年4月1日行われ、3か月に1回以上の水質検査をする必要が生じた。自家水を使用しているありね山荘は個別に対応することとなったため増額した。


定期的な水質検査が必要になったありね山荘

Q【山崎議員】旧上長山小学校は、令和4年に受変電設備改修工事を行っているが、なぜその時点で汚水処理制御盤を点検して早めに工事を実施できなかったのか。

A【観光商工課長】令和8年2月に保安協会からの点検で汚水処理制御盤の腐食が指摘された。令和4年時点では保安協会からの指摘はなく工事しなかった。

同意

雫石町教育委員会委員の任期満了に係る任命に関し同意した。

氏名：岩持斗季子氏（再任）
行政区：岩持
任期：令和8年10月1日～令和12年9月30日

議会はインターネットでもオンライン視聴できます

次の12月定例会は12月3日（木）午前10時開会予定です。
インターネットでオンライン視聴もできます。
雫石町役場のホームページまたは、下記アドレスからご覧ください。

公開用URL
https://smart.discussvision.net/smart/tenant/shizukuishi/WebView/rd/council.html

令和８年第４回雫石町議会９月定例会　議決結果等一覧　会期：９月2日(水)～９月16日(木)

議案等番号	件名	高橋公史	小笠原百合子	畠山操	金子一男	坂井尚樹	徳田幸男	岡本忠美	堂前義信	横手寿明	岩持清美	杉澤敏明	西田征洋	山崎留美子	議決結果
議案第２号	令和８年度雫石町一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	可決
議案第３号	令和８年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第４号	令和８年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第６号	令和８年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
認定第１号	令和７年度雫石町一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	認定
認定第２号	令和７年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定第３号	令和７年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定第４号	令和７年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	認定
認定第６号	令和７年度雫石町立雫石診療所特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	認定
認定第７号	令和７年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	認定
認定第８号	令和７年度雫石町水道事業会計決算	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

○…賛成、●…反対　※幅議長は採決には加わりません。
★その他の議案、認定、同意、発議は、全員賛成しました。

討論要旨

雫石診療所入院休止、医師確保なく地域医療拠点を確保できない

反対【西田議員】

雫石診療所について、新たな医師確保のめどが立たず、今後の入院病床維持が困難となり、入院受け入れを休止するとの説明を受けた。公立の医療施設は地域自治体の要であり、地域医療の中心を担うものとして、なくては成らぬものと認識している。

医師一人が辞意を表明された時点でなぜ常勤一人体制でなく複数の常勤体制にしなかったのか、この一人体制が医師から敬遠される理由になったかもしれない。町の医師の高齢化が進んでおり、今後ますます雫石診療所の存在が大きいものになってきている。医師確保を至上命令として成し遂げ、町の医療拠点を守るため、令和7年度一般会計決算に反対し、また他会計決算にも一部反対する。



財政健全化等の積極的取り組みが見られ、町政に期待できる

賛成【徳田議員】

令和7年度の一般会計決算額は、歳入歳出とも前年を上回り、過去最大規模の決算となっている。

町債残高は前年度より５０００万円ほど減少し、過去5年間で最少となっている。経常収支比率も前年度よりわずかながらも減少しており、財政健全化の取り組みが表れている。歳入では、町税が前年度より1億５５００万円増加し自主財源の確保に努めている。歳出については、物価高の影響により難しい行財政運営を強いられた中において、教育への投資や経済対策、生活者支援を着実に行っており、多岐にわたる事業を着実に推進し、未来を見据えた行政運営には大きな評価ができる。物価高による地域経済の影響は先行きが見えず不透明な状況であるが、住民福祉の増進を図りながら、引き続き財政規律の堅持と自主財源確保に向けた積極的な取り組みが期待できるため賛成する。



ここが聞きたい 一般質問 町政を問う 8議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

10ページ 埋設除草剤の無害化処理の取り組みは　質問者／西田 征洋 議員

10ページ プレミアム商品券効果の検証は　質問者／畠山 操 議員

12ページ 広報紙等の配布方法の見直しを　質問者／高橋 公史 議員

埋設除草剤の無害化処理の取り組みは

質問者／西田征洋 議員

猛毒ダイオキシン入りの除草剤撤去はいよいよ最終局面の様です



町長 早期撤去に向けた要望活動に取り組む

Q 町内の埋設除草剤、無害化処理を実現する方針は。

A 国は全国の埋設箇所を順次、無害化処理を進める方針を決定した。県や関係市町村及び連絡協議会と連携し、早期撤去に向けた要望活動に取り組んでいく。

加齢性難聴者へ補聴器購入支援は

Q 町独自の助成には否定的で、国の動向も注視する方針であったが現在の考えは。

プレミアム商品券効果の検証は

質問者／畠山 操 議員

プレミアム商品券に全く興味がないという方もいるのが事実



町長 事業内容、利用実績など効果検証を行った

Q 町内消費がどれだけ増えたのかなど、客観的な検証は行ったか。

A 令和6年度、7年度に行ったプレミアム商品券発行事業は、利用実績が99％を越えた。町民の消費喚起に結び付き、生活者支援及び町内事業者支援に繋がったと捉えており、所期の事業目的を果たせたものと検証している。

Q 高齢者や交通弱者、仕事などで商品券を購入できない町民への購入方法の検討は。

12ページ メガソーラー発電の許可制導入を検討しては　質問者／山崎留美子 議員

12ページ 地熱発電の可能性と今後の取り組みは　質問者／岩持　清美 議員

14ページ 新規就農と親元新規就農の支援状況は　質問者／堂前　義信 議員

14ページ 地域農業の担い手の負担軽減や支援策は　質問者／金子　一男 議員

14ページ なぜ急に入院事業を休止するのか　質問者／杉澤　敏明 議員

中学校体育館にエアコン設置の考えは

Q 避難所としての役割も担う中学校体育館にエアコンを設置するべきでは。

A 国が学校施設の避難所機能を強化し、屋内運動場の空調設備整備事業に対し、国庫補助率を令和15年度まで2分の1とする制度を創設した。設置について現在検討を進めている。



エアコン設置が望まれる避難所にもなる体育館

A 現時点では町独自の助成は考えていないが、加齢による難聴が認知症等のリスクを高める要因となり得ることから、国の手引きを参考として、介護予防事業等に取り入れて支援していく。

役場内のカスタマーハラスメント対策は

Q 10月1日より改正労働施策総合推進法が施行され、カスタマーハラスメント対策が法的義務となるが、定義・判断基準などガイドラインの整備状況は。

A 「雫石町ハラスメントの防止等に関する基本方針」において、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント及び妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントについて規定してきた。今般の労働施策総合推進法や指針、及び総務省から示された内容等を踏まえ、カスタマーハラスメントに関する規定を加える整備を進めている。

プレミアム商品券の販売方法は

Q 事前申し込みや購入引換券の発行、販売場所の分散など様々な方法を実施している。今後同様の事業を実施する際は、町民が分かりやすい購入方法を第一として、安全性、公平性の確保に考慮し、最適な事業検証に努める。



課題が残るプレミアム商品券の先行販売方法

ここが聞きたい 一般質問 町政を問う

QRコードを読み込むと、各議員の一般質問の動画へ進みます。

広報紙等の配布方法の見直しを

広報紙配布を支える皆さんの負担軽減へ

質問者／高橋公史（たかはしこうし）議員



町長 負担軽減に向けた対策を検討する

Q **町の広報紙等は、町民生活に関わる大切な情報を届ける手段である一方で、夏の暑さや冬の雪道などでは配布者が高齢者等の場合は大きな負担となっている。負担軽減のため、配布方法の見直しを検討しては。**

A 地域役員の高齢化や固定化が進む中、配布物の多さが負担となっていることは認識している。情報発信の強化に加え、新たな情報発信手段の導入可能性を探り、可能なものについては紙媒体から発信方法を切り替えるなど負担軽減に向けた対策を検討する。

メガソーラー発電の許可制導入を検討しては

住民合意が図られていない再エネ事業、再検討を求める制度が欲しい

質問者／山崎留美子（やまざきるみこ）議員



町長 届出制でも合意形成を経ており許可制考えず

Q **メガソーラー発電計画は事業者の届出制だが、町は岩手山の裾野にあり、景観保全地区も多い。伐採によるトラブルを防ぐため、区域によっては許可制を考えては。**

A 条例改正で、設置を認めない区域を新たに定めた。届出制でも、法令の許可基準に沿った確認や住民との合意形成を経ており、許可制としても実質的な効果に差はないため、許可制とする考えはない。

地熱発電の可能性と今後の取り組みは

なんとしても実現して欲しい地熱発電

質問者／岩持清美（いわもちきよみ）議員



町長 網張・丸森地域で地熱資源の有望性を確認

Q **令和3年から6年までJOGMEC（独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構）が行った、網張・丸森地域の地熱調査結果の現状は。**

A 地質調査や物理探査などを実施した。その結果、網張元湯付近と丸森地域から安栖沢及びその西側一帯で、地熱資源の存在を確認した。JOGMECは、この2地域を地熱貯留層の有望位置と判断した。

Q **大松倉山の事業化への取り組みは。**

Q 広報紙や配布資料の印刷、仕分け、配送等に要する年間の経費は。

A 全体の経費を算出することは困難であるが、主なものとして、令和7年度の「広報しずくいし」が約707万円、「議会だより」が約189万円、行政区長謝礼金が約813万円となっている。

Q 配布や回覧を担う地域役員の年齢層について把握しているか。

A 正確な統計はないが、各行政区で役員を務める方々は世帯主であることが多いことから年齢層は比較的高い傾向にあると推察している。



高齢者に負担の大きい広報紙等の配布

人口から算出する図書館の広さと子どもへの配慮は

Q 町立図書館の床面積は564平方メートルだが、人口規模から見た理想は約1,350平方メートルとされる。この差をどう捉えているか。

A 理想との差はあるが、混雑による支障は特になく、大きな問題とは捉えていない。蔵書数も現状の5万9千冊を目安とする方針を定め、運用している。

Q 児童図書コーナーは本棚で仕切られているだけで、読み聞かせの際、静かに読書したい利用者への配慮が必要ではないか。

A 閲覧席と距離を設け、おはなし会では来館者に事前周知するなど工夫している。子どもが図書館に親しむ機会として、今後も理解を得ながら続けたい。


限られたスペースを工夫して活用する館内

A 平成28年以降、地表調査や地下探査、掘削調査や噴気試験などの現地調査が進められてきた。しかし、現状では発電事業の採算性が取れないと判断された。


現在稼働している葛根田地熱発電所（右）／（東北自然エネルギー（株）提供）

入札積算ミスの再発防止策は

Q 入札積算ミスが令和8年3件発生したが、再発防止策は。

A 6月下旬から、建設工事設計委託や物品購入などの積算チェックシートの運用を開始した。積算担当者に加えて検算者を設け、2人以上で積算内容を精査する体制とし、さらに課長等が確認する。

ここが聞きたい 一般質問 町政を問う

QRコードを読み込むと、各議員の一般質問の動画へ進みます。

新規就農と親元新規就農の支援状況は

質問者／堂前義信（どうぜんよしのぶ）議員

農家支援、国の政策のせいにしてもしょうがない。支援できることがあるはずだが



町長 関係機関と連携し定着を支援している

Q 新規就農支援及び親元新規就農支援の支援状況と成果は。

A 就農準備資金などを活用して新規就農した農家は15組。親元新規就農者に対しては年間30万円の助成を6組に支援した。関係機関と連携した支援チームを設置し、営農指導、経営相談、現地調査を行い定着を支援している。

Q ブランド化、6次産業化、スマート農業、生成AIなどをフル活用して農家の所得が向上し農業を続けていける町にしては。

地域農業の担い手の負担軽減や支援策は

質問者／金子一男（かねこかずお）議員

米価が下がり農業資材の高騰に伴い農家の経営圧迫が懸念される



町長 多面的機能支払事業等を活用し支援を行う

Q 農地の大規模化や集積を進める一方で、地域の担い手に負担が集中するが、負担軽減の対策や支援は。

A 日常的に必要な維持管理は、多面的機能支払事業を活用し地域の共同活動に対する支援を行っている。また、農作業の省力化や効率化などを目的とした機械導入や簡易的な基盤整備は、町単独事業を活用し、担い手の負担軽減につながる支援を行っている。

なぜ急に入院事業を休止するのか

質問者／杉澤敏明（すぎさわとしあき）議員

急遽（きゅうきょ）入院休止としたのは、医師募集の見通しが甘かったと説明有り



町長 病床利用率低下と後継医師確保困難のため

Q 入院事業を休止する方針を突然打ち出したのはなぜか。

A 入院病床の利用率が、令和8年7月末時点で50％余りまで低下している。現所長が10月31日付で退職予定であり、現在の勤務条件のまま医師募集を続けても、後継医師確保のめどが立たないため入院受け入れを休止することにした。

町民へ十分に周知する時間がない中での決定となった。これからも持続可能な体制を維持していくために、避けて通れないものと考えている。

A 農家は結局、天候に左右される。町政策よりも国政策の抜本的な相違で、国がもっと考えていかなければ、ますます農家は疲弊する。



平均年齢が 60 代と考えられる町内の農業者

小中学生のゲーム依存は

Q **「ゲーム行動症※」を未然に防ぐための予防的介入を進めるべきでは。**

A ノーゲームデーに代わり、児童生徒のスマートフォン等の使用状況を保護者が直接確認し、家族のコミュニケーションを図り、事件や事故を未然に防ぐことを目的に「携帯電話等の利用を考える日」という取り組みを7月に実施した。現在実施結果の集計と分析を進めている。

※ゲーム行動症：ゲームがないと平常の状態を保てなくなり、自分の意思だけではコントロールが難しくなる病気

町に適した高収益作物の考えと導入に対する支援は

Q **高収益作物の導入は、国の補助事業の実質的な採択・評価の重要要件となっている。町に適した高収益作物の考えと導入に対する支援は。**

A 町内で取り組んでいる高収益作物は、きゅうり、ネギ、ピーマン、りんどう、小菊などが中心となっている。高収益作物の導入は、農地の条件や生産技術により、その地域に適した作物を選定する必要があり、地域での話し合いの支援を継続しながら、慎重に見定めていく必要がある。

また、新たな機械導入や設備更新も、地域内の農地に関わる組織を含めた話し合いを推進しながら、目的に合った事業等の活用を支援していく。



農家の経営を圧迫する農業機械の価格上昇

矢櫃（やびつ）地区への町水道整備の取り組み状況は

Q **令和元年12月2日に矢櫃地区水道整備促進協議会から全20世帯の著名付陳情書が町長に提出されている。今までの取り組みは。**

A 国や県に対して機会があるごとに水道未普及地域への支援拡充を要望するとともに、他自治体における給水維持の事例について情報収集を行ってきた。新たな水道施設の整備手法については、引き続き今後の研究課題とする。

このほかに「沼返の町有地14ヘクタールの活用等について」質問した。



入院受け入れを休止する診療所

総務産業常任委員会
［岡本忠美委員長］

「道の駅雫石あねっこ」を現地視察

改修から約半年。物産館のセルフレジやモンベル売場、キャンプ場を確認しました。


セルフレジが導入された物産館

数字で見る道の駅

モンベル売上（4～8月）	2,117万円
キャンプ場利用（4～8月）	2,066人（うち宿泊 1,696人）
レジ担当の人数（改修前→後）	6人▶3人

改修のポイントと契約金額（税込）

物産館改修工事（28.80㎡増床）1,265万円 ▶ セルフレジ導入（会計を効率化）1,342万円 ▶ モンベル売場（新たに開設）300万円 ▶ 防犯カメラ増設（安全を確保）49万円 ▶ にぎわいと売上アップへ 2,956万円

確認したこと

・セルフレジで会計の流れが良くなった
・商品管理がしやすくなり、商品の回転が向上

今後の対応

・モンベル商品は別レジのため、案内表示を工夫
・キャンプ場や雫石オリジナル商品と連携し誘客

委員会としての視点　セルフレジの導入で会計の流れや商品管理が改善し、モンベル売場やキャンプ場も多くの人に利用されています。町の玄関口としてさらなる活性化につながるよう、引き続き調査していきます。

教育民生常任委員会
［徳田幸男委員長］

スポーツ合宿で、町の施設を活用

スポーツ施設の利用状況や合宿の受け入れ状況、宿泊先について説明を受けました。また、アーチェリーセンターの利用拡大に向け、２団体による合同合宿の可能性についても質問しました。

年度	件数	延べ人数
令和４年度	22 件	1,451人
令和５年度	23 件	1,307人
令和６年度	37 件	2,991人
令和７年度	48 件	3,689人

令和７年度（人数は延べ人数）

■県営温水プール	■アーチェリーセンター
14 件　1,228 人 水泳関係の合宿が多く利用。	12 件　832 人 大学・高校などの合宿を受け入れ。

その他の調査

地域医療構想策定にかかる町民アンケート調査結果の報告や、雫石診療所の入院病床休止についても説明を受けました。また、児童生徒のクマ被害防止対策の実施状況について、現地調査しました。（七ツ森小学校、御所小学校周辺）


クマ被害対策として実施した刈り払い状況を確認

委員会としての視点　スポーツ施設を活かし、合宿の受け入れだけでなく、町での滞在や交流につなげられるよう、継続して調査していきます。

委員会レポート

広報広聴常任委員会

［堂前義信委員長］



139 号の編集作業を熱心に行う委員

○7 月 7、13、16 日
議会だより第 138 号の編集会議を開催しました。

○7 月 23 日
議会だより第 138 号発行。

○9 月 2 日
議会だより第 139 号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。

職場訪問・地域訪問学習

雫石中学校 1 年生 6 名が来庁

8 月 26 日、雫石中学校 1 年生による「職場訪問・地域訪問学習」が行われ、6 名が議会を訪れました。当日は議員全員協議会を見学しました。

その後、議長室で議長と懇談を行いました。生徒たちは、どこか緊張したようにも見える面持ちで、真剣に議長の説明に耳を傾けていました。また、議場を見学し議長席に座る生徒などもいて、終始和やかな時間となりました。主権者教育としても、有意義な機会となりました。

6 名の生徒に訪問後の感想を聞きました。

「多くの人たちが協力して行政を進めていることが分かった。」
「わかりやすい言葉で丁寧に教えてくださった。」
「中学生に向けたメッセージが、面白く感じワクワクした。」
「町を楽しく安全に暮らすことができるように、さまざまな工夫がされていた。」
「町をどうすれば良くできるのかなどを考える大切な仕事だと思った。」
「将来を支える一員になれるように、学んだことを活かして生活していきたい。」
「人口が減るスピードを抑え、できることを探して一緒に頑張りたい。」
「公園などの公共の場を大切に使って、遊具などを長く使えるようにしたい。」

などです。
貴重な感想、ありがとうございました。



議席に座り議場の雰囲気を体感した生徒たち



井上（いのうえ）　健一（けんいち）　さん（51歳・片子沢）

迎えてくれるふるさと

25歳で雫石を離れ、東京、福島へ。それでも子どもの頃からの夢は、大好きな雫石に戻り、農業をすること。41歳で帰郷し、研修を経て令和元年に独立しました。今は30町歩を耕しています。いつでも迎えてくれるふるさと雫石こそ、私の宝物です。



村上（むらかみ）　健太（けんた）さん（36歳・七ツ森）

元気な笑顔

私たちの町には、豊かな自然と、それを上回るほどの眩しい子どもたちの笑顔があります。元気に遊ぶ声やスポーツに励む姿は、大人たちに日々たくさんの活力を与えてくれます。子どもたちは町を明るく彩る「宝物」。地域全体で見守り、温かい眼差しで育んでいきたい。

VOICE No.34

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴くVOICEシリーズ。
テーマは「しずくいしの宝物」です。



工藤（くどう）　直行（なおゆき）さん（75歳・天戸）

喫茶と幼い頃に戻れる「焙煎珈房」

雫石に転居後リタイア、稲作に専念する。ふと入った自家焙煎珈房で、ブレンド珈琲を頼むと、ママがサイフォンで入れながら、幼い頃の雫石の風景や雫石弁が混じるやりとりが心地良い。

企業戦士だった私にも地元の良さが溢れる珈房で、気持ちだけは若いお年頃が集うこの珈房こそ『しずくいしの宝物』です。



米田（まいた）　耕市（こういち）さん（64歳・黒沢）

古きもの、新しきもの

娘は、細川会で踊りをやっています。その活動は、古きものを継承し、新しきものの創造の活動のようにみえます。町も、古くからのものを大切にし、新しいものをとり入れ、だれもが元気に暮らせるやさしい町であり続けてほしいと思います。



在京雫石町友会会員 土樋（つちとい） 光雄（みつお）さん

故郷の思い出

私は昭和21年、旧下長山村小松地区の西の方に生まれました。 春：4月初めでもまだまだ雪が残っており、雪の下に水仙の芽がじっと 雪解けを待っているようでした。 朝、小学校に行くときは かた雪の上を歩いて行った記憶があります。 4月も半ばを過ぎるとやっと植物が芽を出し、サクラが咲くのは4月の終わりから5月の初めでした。小学校の校庭にはサクラの木はなく、コブシの白い花だけはよく覚えています。サクラは盛岡の高松の池まで行って見ました。また、春と言えば山菜。田植えの時期にはワラビ、ミズ、ヒメタケ、シドケなどをよく食べました。昔は、田植えの時期は農繁期休業といって学校は1週間休みでした。

夏：初夏になると、渡り鳥がやって来ていろいろな鳥の声が聞こえてくるのでした。 実家の北側には沼があってヨシがびっしり生えていました。そこには毎年、オオヨシキリが巣を作っていたので 毎日、朝から夕方まで オオヨシキリの声を聞いていました。 他にも、ツバメ、カッコウ、ホトトギス、ツツドリの声などが聞かれました。

夏の暑いときは、タジキ川（用水路）や葛根田川にきゅうりとミソを持って遊びに行っていました。タジキ川では、よく魚釣りをしていました。その場所は、今は道路になっており、魚釣りをした思い出の場所がなくなったのは残念です。

岩手山に初めて登ったのは小学校5年生の夏休みでした。網張温泉に泊まり、翌朝起きたら下界の景色は雲海だけでした。雲を上から見たのは人生で初めてで、すごく感動した記憶があります。 岩手山登山には、水の代わりにきゅうりを背負って登りました。2度目の岩手山登山は中学3年の夏休みに学年みんなで登ったと記憶しています。 駒ヶ岳も毎日見ていましたが、登ったのは高校の遠足が初めてでした。三ツ石山には、今はリフトで登れますが、高校の夏休み、網張温泉から駆け足で登った記憶があります。8月15日の雫石町の成人式の後は、みんなでリフトで登りました。また、食べ物でよく思い出すのは 桑の実、スグリ、グミです。

亡くなった昭和2年生まれの姉も桑の実を食べたいと言っていました。私にとっては大切な故郷と大切な思い出です。

昭和21年生まれ、80才。
下長山小学校→（越境して）雫石中学校→盛岡一高→上智大学。都内練馬区で小規模塾経営50数年。



2020岩手県人会（前列右筆者）



2024在京雫石町友会（後列左から3人目筆者）

雫石町へようこそ

ご縁があり、雫石町民になった

谷藤（たにふじ）　佳（けい）さん（33歳）｜野中｜※青森県弘前市出身

Q　お二人の馴れ初めは？

A　夫の趣味であるスポーツの試合会場で話したことがきっかけです。

Q　雫石町に暮らしてみていかがですか？

A　自然が豊かで、ゆったりした時間の中で過ごせることに安心感があります。
四季折々の自然を身近に感じられるのも、この町で暮らす魅力だと思います。

Q　町へ望むことは？

A　子育て世代が「雫石町で子育てしたい」と思えるような環境作りや、公共交通の充実、地域の仕事、産業の活性化に力を入れてほしいと思います。



左から夫の達明（たつる）さん（32歳）
本人佳（けい）さん

なかよしシリーズ㉞

今月の表紙
Photo by 川代大輔

写真左から　凛希（りの）さん
菜美（なみ）さん
茉心（まこ）さん
悠藍（ゆあ）さん



髙橋勇貴（たかはしゆうき）さん、綾弥（あや）さん（天戸）のお子さん
なかよし４きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長女　悠藍さん（15歳）：
農業高校で学んでいることを活かし社会貢献出来る人になることです。

次女　菜美さん（14歳）：
母と一緒に元気で明るいローソン店員になることです。

三女　凛希さん（11歳）：保育士

四女　茉心さん（10歳）：保育士

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（７月～９月）】

月	葬祭費		お祝い、会費	
７月	０件	０円	６件	43,000円
８月	０件	０円	５件	64,500円
９月	０件	０円	０件	０円
合計	０件	０円	11件	107,500円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■ 編集デスク

令和４年の補欠選挙で当選しましたので、２期目とはいえ町議会議員になって、ようやく丸４年となりました。議会だよりの編集は127号から携わりましたので、今回で13回目となりました。先輩議員からの時には厳しい助言を受け、回数を重ねるごとに文章の推敲（すいこう）力は上がっていると自負しております。

任期中あと３回の発行がありますので、みなさまのご協力をよろしくお願いします。

（広報広聴常任委員：畠山操）

発行責任者（議長）／幅　秀哉
編集委員長／堂前義信
副委員長／徳田幸男
編集委員／坂井尚樹・金子一男
畠山　操・高橋公史
小笠原百合子

〒020－0595　岩手県岩手郡雫石町千刈田５番地１
☎019－692－6415　FAX019－692－2828